

史学委員会教育現場・社会における歴史実践と歴史認識に関する分科会（第26期・第1回）
議事要旨

日時：令和5年2月12日（月）10：00～11：35

場所：オンライン開催

出席者：大橋 幸泰（世話人）、小田中 直樹、飯塚 一幸、石居 人也、奥村弘、鎌倉 佐保、川島 真、河西 秀哉、京樂 真帆子、栗田 禎子、小嶋 茂稔、近藤 孝弘、坂井 俊樹、三時 眞貴子、鈴木 茂、都丸 潤子、中野 聡、中村 元哉、林 佳世子、若尾 政希

欠席者：加藤圭木、久留島典子、小浜正子、佐野正博、平野千果子

<議事>

（1）役員を選出

委員長に大橋幸泰、副委員長に鈴木茂、幹事に中村元哉、三時眞貴子を選出した。

（2）26期の活動方針と今後の進め方について

本分科会の前身となる二つの分科会の成果を踏まえ、委員長から三つの検討議題（パブリック・ヒストリー、歴史学・歴史教育の枠組み、歴史の教員養成の構築）が提示され、これをもとに、今期の活動方針について全員で意見交換を行った。領域横断的な有意義な意見が様々に出され、大きな方向性と具体的な課題について精査する必要があることから、事務局会（本分科会の委員長・副委員長・幹事2名で構成）で整理した上、審議することになった。